

# わたしのいちねん

ひかり広報も昭和五十七年のしめくりの号を迎えました。一年を顧みて、いろいろなニュースがたくさんありましたね。さて、皆さんにとってはどうな一年でしたか。

そこで「私のいちねん」と題して、いろいろな方の声を集めましたので紹介します。

(あいうえお順)



伊藤 政良

今年、青年クラブ活動に仕事(農業)に充実した一年でした。四月に青年クラブの会長に就任して以来、会員相互の親睦を図り、地域社会に役立つ活動を進めるべく努力してきました。

仕事の方は、昨年鉄骨ハウスを建て、今年から栽培を始めました。高校を卒業と同時にハウス栽培を始めましたが、面積が倍に増えたため仕事のしがいがあると同時に責任を持たなければならぬと痛感しています。

今は越冬トマトを作っていますがまだ一年生で勉強中です。年の始めに「今年……を」と胸を張って主張しても

一年を振り返って「良い所あり悪い所あり」で終わろうとしています。



小南 大木 幸恵

一年というのは、長いようで短い。とくに今年は短く感じられました。印象的な思い出が三つあります。

まず、小田部子供会の体験発表を先生方の前でしたこと。私は、人前で話をするのがが手でしたが、発表後は少しずつですが積極的に自分の意見を主張できるようになりました。

次は、夏休みに光町の「少女の集い」に参加したこと。最初は、他の学校の人達と友達になれるかどうか不安でした。公民館のおじさん達にいろいろおもしろいゲームなどを教えてもらったり、おいしい食事を一緒に食べたり、一泊するうちに、みんなと仲よしになりました。私のクラスの中には集い以来、文通をしている人もいます。

後少しで中学生になりますが、中学へ行って仲よく勉強できることを楽しみにしています。最後は、修学旅行です。私達六年生は十五人です。今年はお母さん達と一緒にきました。

天候にも恵まれて、とてもすばらしい思い出になりました。鎌倉の歴史や箱根の自然をじつさいに、自分の眼で勉強したり、きれいな富士山をバックに親子で記念写真をとったことなど、

忘れることはできません。後、四ヶ月で小学校生活は終わりです。この三つの思い出ばかりではなく、水泳大会、運動会、五・六年一緒の大房岬宿泊訓練、クラブ活動、委員会活動など、楽しかったこと、苦しかったことがいろいろと思い出されます。

これからの残りの日々を、学校や下級生のために少しでも役立つようにがんばって、皆さんのすばらしい思い出をつくり、卒業したいと思います。



原 押尾由美子

私にとって、今年ほど思い出せる経験ができた年はなかったのではないかと思います。

成人式を迎え、大人の仲間入りをした私です。成人と見ても、きのうの私と今日の私を見ても、全く同じ進歩のなさなのです。社会人として三年生であり、今まで以上に自分の行動に責任を持たなければ……と、感じました。

そして、何よりも思い出に残

ったことは、六月十一日から十五日まで行われた、洋上大学に参加できたことでした。

初めての船旅に加え、光町からは自分を含めて、四名が参加しました。

この研修を通し、一人ということ、自分らしさということに、自信が持てるようになりました。人の良いところを真似るのはいい事だけど、自分らしく行動する事が一番美しいのではないかと思います。

今、私にとって青年クラブ、会社も楽しく充実していますが、友人を何よりも大切にする自分に、信頼される自分に、そして、昨日より今日、今日より明日と、前進していける自分になりたいと思います。



東陽小 小海 和人

四月には前期の本部役員の間長としてスタートをきった。まだ仕事にも慣れないのに早くも初めての代表委員会があった。前の日にやることがあったのに、やらないうちにこの日になってしまった。先生方にきびしく注意をうけ、つらいと思った。

先生方に何度注意を受けただろう。そのたびに本当にこれだ会長がつとまるのかと、自分を

うたがった。しかし、その積み重ねでようやくやる気が出てきて学校全体にも目を向けられるようになった。

特に目だつのは、絵や習字、陸上競技会に東陽小は、がんばってきた。そんな学校にふさわしい児童会になるように、自分自身でもいろいろなものにならばってみた。

これからは、学校のきまりを中心にがんばろうと思う。例えば、ろうかかば静かに。校内ではぼうしをかぶらない。名ふだを毎日つける。あいさつをきちんとするなどのことを、みんなとこまかく相談して守るよう努力したい。それには、六年生が手本を示せば低学年の人たちも自然に守っていくにちがいない。

りっぱな校舎に負けないような、東陽小をつくりあげていこうと考えている。

もう一つは、もっと児童会活動をさかんにしていきたい。

ぼくたちの本部役員の仕事もそうだが、委員会、学級役員の仕事も、もっとよくなるように協力してがんばっていききたい。



日吉小 齊藤 佳祝

元旦マラソンに参加して、小